

水のひろば

Water Square

暮らしを守り豊かな心と活力を育む
きずな深めるまち

三重県 木曾岬町

木曾岬町の紹介

木曾岬町は木曾川の最下流に位置し、広大な伊勢湾を望み、川と海の恵みを受けながら水郷輪中の町として昔から春は菜の花、秋は稲穂に包まれています。伊勢湾に近い地域では海苔漁業とともに穀倉地帯として栄えてきました。春には町の木である桜が鍋田川堤防約5kmに渡り素晴らしいトンネルの桜並木になっており、桜の名所としても親しまれています。

悠々とした木曾川の流れや鈴鹿の山々を眺めながら散策される方、松尾芭蕉や山口誓子の句碑巡りに訪れる方、夏には潮干狩りやマリンスポーツ、秋には木曾川河口に釣り船を出し、ハゼ、カレイ、セイゴなどを楽しむ方々など四季折々にふれて訪れていただいております。

水との闘い

木曾川が伊勢湾にそそぐ木曾三川の下流域は、古くは木曾川、長良川、揖斐川が網状に流れて洪水の度に川の形を変えるといた有り様で、洪水による被害が後を絶ちませんでした。江戸時代中期の宝暦4年(1754年)には薩摩藩による木曾三川の分流を目的とする治水工事(宝暦治水)が行われ、多くの犠牲者を出しながらも完工した歴史があります。

当町の歴史は寛永2年(1625年)、木曾川の河口部に魚鱗状の新田(加路戸新田)が干拓されたのが由来とされ、江戸時代末期までに加路戸輪中、見入輪中、源緑輪中の三つの輪中であったものが、見入川の締め切りにより北の加路戸輪中と源緑輪中の二つの輪中になったと記されています。

明治20～45年(1887～1912年)にかけて、木曾川の完全分流を目指して、明治政府による河川大改修工事が行われました。この工事はオランダ人で土木工学の専門家ヨハネス・デ・レーケの指導により行われたもので、この改修により三川の分流が完成し、木曾三川の下流域はほぼ現在の形となりました。

そして忘れることの出来ない昭和34年9月26日。東海地方を直撃した台風15号(伊勢湾台風)は、当時の村の堤防総延長の1/3を決壊させ全村を水没させました。この



伊勢湾台風直後の木曾岬村 全域が水没し甚大な被害を受けた
(中日新聞フォトサービス提供)

伊勢湾台風により、木曾岬村は一瞬にして当時の人口の一角に相当する 328 名もの尊い命を失うという甚大な被害を被ったのです。水郷輪中の歴史は、川の恵みと洪水との闘いの歴史であったと言っても過言ではありません。

川の恵みを受けながら

伊勢湾台風により壊滅的な被害を受けた木曾岬村ですが、災害復旧事業や全国各地から寄せられた温かい支援により村民一丸となって復旧に取り組み、豊かな圃場を持つ都市近郊農村として復興しました。

従来、圃場への水源は河川からの直接取水と地下水に依存しながら耕作を行っておりましたが、河川流況の変化により塩害が発生したことや、地下水の汲み上げによる地盤沈下が進行したために地下水の揚水規制がなされたこと等に伴い、水源の転換に迫られました。

このような状況は当町だけでなく木曾川流域の市町村も同様な状況であり、こうした状況下の問題を解消するため、昭和 43 年に水資源開発公団(現水資源機構)による木曾川用水事業が着手され、昭和 51 年 11 月の暫定通水を経て昭和 58 年 3 月に完了し、現在の木曾川用水の供給を受けております。この事業により、当町 600 ha 余の圃



地盤沈下による旧井戸管の抜けあがり状況



田んぼを潤す木曾川用水

場はパイプラインを通じて安定的な農業用水の供給が受けられるようになりました。また、木曾川用水事業は、農業用水だけでなく愛知県・三重県への都市用水も供給する事業として計画されたため、当町の上水道についても従来の深井戸の水源から通水後は三重県企業庁から全面受水することに変更し、町内全家庭に安全で安定的に供給されています。



トマッピー
町の特産品「トマト」をモチーフした
イメージキャラクター

多様な農業への転換

木曾川用水事業の完工により安定的に農業用水が供給されるようになったことで、当町の農業も多様化しました。

地域農業基盤確立構造改善事業の採択を受け、従来の稲作に加え、大型ハウスを利用しトマトやメロン、ナスなどの施設園芸作物が普及しました。

特にトマトは、豊かな水と土壌にも恵まれ糖度の高い品質が評価され、産地指定を受けるなど名古屋市場を中心に全国へ出荷されており、三重県下一の生産量を誇るまでになっています。

明日の農業を目指して

農業を取り巻く情勢は食料自給率の低迷や後継者不足等非常に厳しい状況が続いています。一方、国産の農産物等に価値観が高まっている状況もあります。

私たちは安定的に供給される豊かな木曾川用水を活用し消費者の視点に立った「食の安全・安心」を目標に、農家の方々と共に明日の農業を目指していきます。